

[1]四国の事業用自動車による重大事故発生状況

1. 自動車保有台数

令和5年12月末現在の四国管内における事業用自動車の保有台数は表1のとおりです。

【令和5年の対前年比】				【参考: 令和4年の対前年比】			
徳島県	9,844台	(前年比 + 109台	+1.12%)	(前年比 - 9台	-0.09%)		
香川県	16,632台	(前年比 - 195台	-1.16%)	(前年比 + 70台	+0.42%)		
愛媛県	21,755台	(前年比 - 128台	-0.58%)	(前年比 - 42台	-0.19%)		
高知県	8,903台	(前年比 - 55台	-0.61%)	(前年比 - 63台	-0.70%)		
計	57,134台	(前年比 - 269台	-0.47%)	(前年比 - 44台	-0.08%)		

表1 自動車保有台数(令和5年12月末現在)

区分	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
事業用	バス	640	727	832	513	2,712
	ハイタク	976	1,471	2,062	1,164	5,673
	トラック	8,228	14,434	18,861	7,226	48,749
	計	9,844	16,632	21,755	8,903	57,134
自家用	バス	757	855	1,186	703	3,501
	乗用	458,371	596,521	748,181	396,770	2,199,843
	トラック	133,713	155,945	222,140	135,196	646,994
	計	592,841	753,321	971,507	532,669	2,850,338
小型・軽二輪車		21,545	32,780	41,172	24,928	120,425
合計		624,230	802,733	1,034,434	566,500	3,027,897

(注) 1. 軽自動車を使用して貨物を運送する事業用自動車は自家用トラックに含む

2. 特種自動車、大型特殊自動車はトラックに含む

3. トレーラも1台としてカウント

【参考: 令和4年12月末現在の保有車両数】

区分	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
事業用	バス	642	743	849	524	2,758
	ハイタク	975	1,515	2,074	1,191	5,755
	トラック	8,118	14,569	18,960	7,243	48,890
	計	9,735	16,827	21,883	8,958	57,403

2. 交通事故発生状況

令和5年の四国及び全国の交通事故の発生状況は表2のとおりです。

表2 交通事故発生状況

(令和5年1月～12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国	全国
発生件数	令和5年	1,987	3,041	2,115	975	8,118	307,930
	令和4年	1,960	3,144	2,132	943	8,179	300,839
	増減数	27	-103	-17	32	-61	7,091
	増減率	1.4%	-3.3%	-0.8%	3.4%	-0.7%	2.4%
死者数	令和5年	28	33	43	23	127	2,678
	令和4年	23	35	44	26	128	2,610
	増減数	5	-2	-1	-3	-1	68
	増減率	21.7%	-5.7%	-2.3%	-11.5%	-0.8%	2.6%
負傷者数	令和5年	2,352	3,712	2,315	1,049	9,428	365,595
	令和4年	2,333	3,730	2,355	1,010	9,428	356,601
	増減数	19	-18	-40	39	0	8,994
	増減率	0.8%	-0.5%	-1.7%	3.9%	0.0%	2.5%

出典：警察庁HP「令和5年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」

2-2. 事業用自動車の重大事故発生状況

令和5年中に四国で自動車事故報告規則に基づき、国土交通大臣に報告された事業用自動車による重大事故の発生件数、死傷状況等は表3のとおりであり、四国全体では、令和4年と比較して発生件数、死者数、負傷者数ともに増加し、特に死者数は前年から72.7%と大きく増加しています。

発生件数	109件（前年比 +21件）
死者数	19人（前年比 +8人）
負傷者数	56人（前年比 +14人）

表3 事業用自動車による重大事故発生状況

(令和5年1月～12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
発生件数	令和5年	27	31	31	20	109
	令和4年	10	31	26	21	88
	増減数	17	0	5	-1	21
	増減率	170.0%	0.0%	19.2%	-4.8%	23.9%
死者数	令和5年	3	8	4	4	19
	令和4年	1	3	5	2	11
	増減数	2	5	-1	2	8
	増減率	200.0%	166.7%	-20.0%	100.0%	72.7%
負傷者数	令和5年	19	13	18	6	56
	令和4年	4	18	10	10	42
	増減数	15	-5	8	-4	14
	増減率	375.0%	-27.8%	80.0%	-40.0%	33.3%

3. 重大事故発生状況の推移

管内の事業用自動車の重大事故発生状況の推移は表4のとおりであり、令和5年は事故発生件数、死者数、負傷者数ともに増加しています。

事故の発生率を表す1000台あたりの事故件数は、直近の3年間と比較すると大きく増加しています。

管内の事業用自動車数の推移は図2のとおりであり、直近10年間では令和2年をピークに、わずかに減少しています。

表4 重大事故発生状況の推移

	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
自動車数	54,504	54,768	55,493	56,124	56,599	57,332	57,453	57,447	57,403	57,134
事故件数	141	121	115	138	107	118	77	90	88	109
死者数	31	39	35	39	24	38	23	19	11	19
負傷者数	114	91	134	119	82	80	47	57	42	56
1,000台あたり 事故件数	2.6	2.2	2.1	2.5	1.9	2.1	1.3	1.6	1.5	1.9

図1 重大事故発生状況の推移

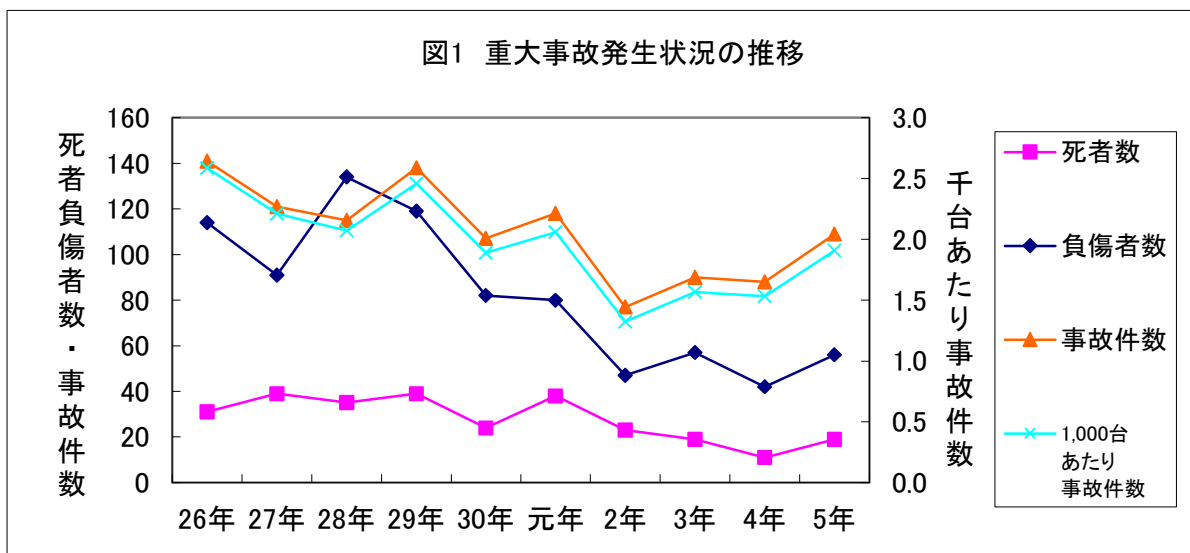
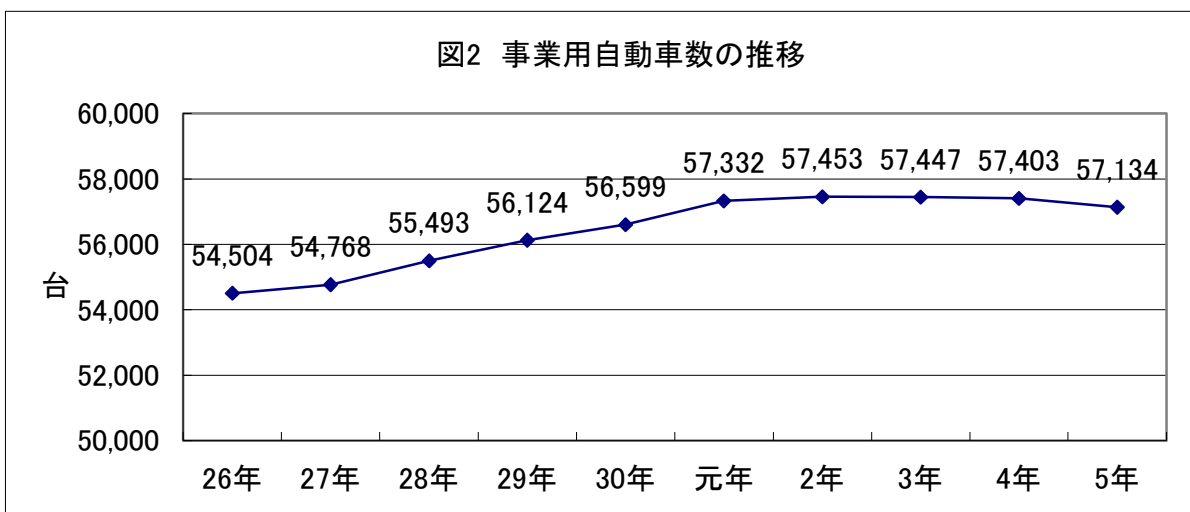


図2 事業用自動車数の推移



4. 事業用自動車1,000台当たりの重大事故件数

事業用自動車1,000台当たりの重大事故発生件数を県別で見ると、徳島県2.7件、香川県1.9件、愛媛県1.4件、高知県2.2件となっており、徳島県の件数が令和4年と比較し大幅に増加しています。

表5 県別、業態別事業用自動車1,000台当り重大事故件数

(令和5年1月～令和5年12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
発生 件数	バス	13	9	9	7	38
	ハイタク	1	3	0	5	9
	トラック	13	19	22	8	62
	計	27	31	31	20	109
事業用 自動車 数	バス	640	727	832	513	2,712
	ハイタク	976	1,471	2,062	1,164	5,673
	トラック	8,228	14,434	18,861	7,226	48,749
	計	9,844	16,632	21,755	8,903	57,134
千台 あたり の事故 件数	バス	20.3	12.4	10.8	13.6	14.0
	ハイタク	1.0	2.0	0.0	4.3	1.6
	トラック	1.6	1.3	1.2	1.1	1.3
	計	2.7	1.9	1.4	2.2	1.9

【参考】表5 県別、業態別事業用自動車1,000台当り重大事故件数

(令和4年1月～令和4年12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
発生 件数	バス	5	10	8	9	32
	ハイタク	0	0	4	2	6
	トラック	5	21	14	10	50
	計	10	31	26	21	88
事業用 自動車 数	バス	642	743	849	524	2,758
	ハイタク	975	1,515	2,074	1,191	5,755
	トラック	8,118	14,569	18,960	7,243	48,890
	計	9,735	16,827	21,883	8,958	57,403
千台 あたり の事故 件数	バス	7.8	13.5	9.4	17.2	11.6
	ハイタク	0.0	0.0	1.9	1.7	1.0
	トラック	0.6	1.4	0.7	1.4	1.0
	計	1.0	1.8	1.2	2.3	1.5

5. 業態別重大事故発生状況

重大事故発生状況を業態別に示すと表6のとおりであり、発生件数に占める業態別の割合はバスが38件34.9%（前年36.4%）、ハイタクが9件8.3%（前年6.8%）、トラックが62件56.9%（前年56.8%）となっています。事故の種類で最も多いのは、バスの車両故障（30件）、次いでトラックの衝突事故（22件）、トラックの死傷事故（10件）となっており、この3種類で全体の56.9%を占めています。

表6 県別、業態別、種類別発生状況

（令和5年1月～令和5年12月）

区分	業態	事故件数	構成率	事故の種類（数値は件数）											損害			
				転覆	転落	逸路脱外	火災	踏切	衝突	車内	死傷	起健康	物危険	故障	車両	その他	死者	傷者
徳島	バス	13	11.9%								2		1		10			2
	ハイタク	1	0.9%							1								3
	トラック	13	11.9%	1	1		2		5		1			1	2	3	14	
	計	27	24.8%	1	1		2		6	2	1	1		11	2	3	19	
香川	バス	9	8.3%							1		1		7			3	
	ハイタク	3	2.8%								3					1	2	
	トラック	19	17.4%	2			1		8		3		1	3	1	7	8	
	計	31	28.4%	2			1		9		7		1	10	1	8	13	
愛媛	バス	9	8.3%				1				1			7			1	
	ハイタク	0	0.0%															
	トラック	22	20.2%	2	1	1	2		8		5			1	2	4	17	
	計	31	28.4%	2	1	1	3		8		6			8	2	4	18	
高知	バス	7	6.4%							1				6			1	
	ハイタク	5	4.6%							1		3			1	1	5	
	トラック	8	7.3%	1			4		1		1			1		3		
	計	20	18.3%	1			4		2	1	4			7	1	4	6	
管内	バス	38	34.9%				1		1	3	2	1		30			7	
	ハイタク	9	8.3%						2		6				1	2	10	
	トラック	62	56.9%	6	2	1	9		22		10		1	6	5	17	39	
	計	109		6	2	1	10		25	3	18	1	1	36	6	19	56	

（注）1. 車内事故とは、急ブレーキ、急ハンドル等により当該自動車に乗車している者が死傷したものを指す。

2. 死傷事故とは、通行人（自転車に乗って通行していた人を含む。）と接触又は衝突したものを指す。

【参考】令和4年1月～令和4年12月

区分	業態	事故件数	構成率	事故の種類（数値は件数）											損害			
				転覆	転落	逸路脱外	火災	踏切	衝突	車内	死傷	起健康	物危険	故障	車両	その他	死者	傷者
管内	バス	32	36.4%							5	1	2	4		20		1	7
	ハイタク	6	6.8%							3	1	2					2	6
	トラック	50	56.8%	2	5		9		19		4	1	1	4	5	8	29	
	計	88		2	5		9		27	2	8	5	1	24	5	11	42	

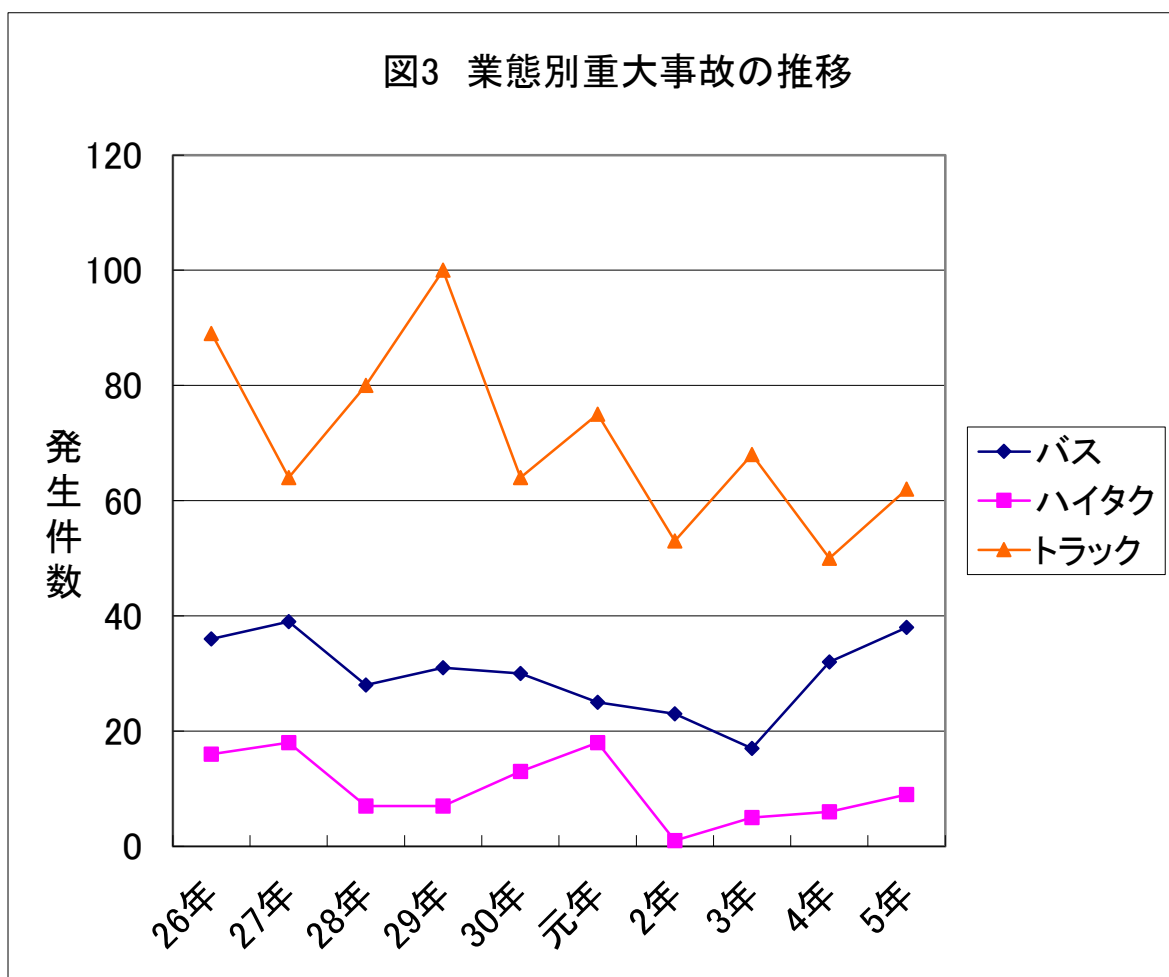
6. 業態別重大事故の推移

業態別重大事故発生状況の推移は表7及び図3のとおりであり、どの業態においても前年と比較して発生件数が増加しています。

表7 業態別重大事故の推移

	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
バス	36	39	28	31	30	25	23	17	32	38
ハイタク	16	18	7	7	13	18	1	5	6	9
トラック	89	64	80	100	64	75	53	68	50	62
計	141	121	115	138	107	118	77	90	88	109

図3 業態別重大事故の推移



7. 種類別重大事故発生状況

表6に示した事故の種類別重大事故発生件数を割合で見ると表8及び図4のとおりであり、前年と比較し、転落事故及び衝突事故が減少しているものの、転覆事故、死傷事故、車両故障が増加しています。死者が生じた事故件数は表9及び図5のとおり19件(死者19名)で、衝突事故及び死傷事故がおおよそ9割を占めています。

表8 種類別重大事故発生状況

事故種類	件数	構成率
転覆	6	5.5%
転落	2	1.8%
路外逸脱	1	0.9%
火災	10	9.2%
踏切		0.0%
衝突	25	22.9%
車内	3	2.8%
死傷	18	16.5%
健康起因	1	0.9%
危険物等	1	0.9%
車両故障	36	33.0%
その他	6	5.5%
計	109	

【参考】令和4年

件数	構成率
2	2.3%
5	5.7%
	0.0%
9	10.2%
	0.0%
27	30.7%
2	2.3%
8	9.1%
5	5.7%
1	1.1%
24	27.3%
5	5.7%
88	

図4 種類別重大事故発生件数

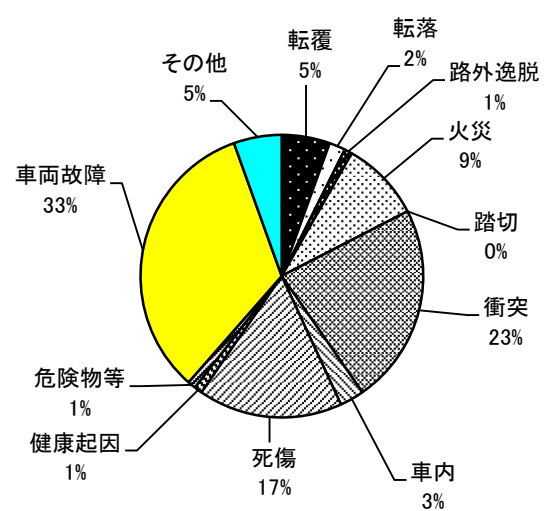


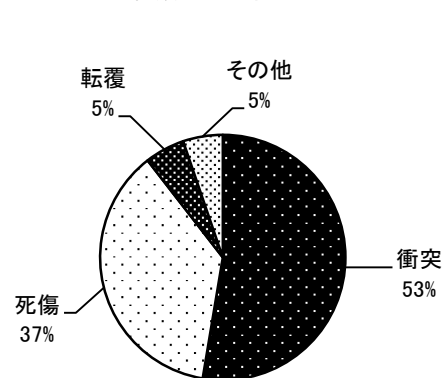
表9 種類別死亡事故発生状況

事故種類	件数	構成率
衝突	10	52.6%
死傷	7	36.8%
転覆	1	5.3%
その他	1	5.3%
計	19	

【参考】令和4年

件数	構成率
10	90.9%
1	9.1%
	0.0%
	0.0%
11	

図5 種類別死亡事故発生状況



8. 種類別重大事故の推移

最近10年間における種類別事故は表10のとおりであり、平成26年から令和5年まで10年間の事故種類別ごとに合計した構成率は、衝突事故が最も多い32.4%、次いで車両故障が22.6%を占めています。

表10 種類別重大事故の推移

	(1月～12月)										構成率
	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	
転覆	6	3	4	8	2	5	2	7	2	6	4.1%
転落	4	2	6	9	8	1	2	1	5	2	3.6%
路外逸脱							1			1	0.2%
火災	5	5	5	10	6	4	5	11	9	10	6.3%
踏切			1								0.1%
衝突	57	50	43	35	29	44	25	23	27	25	32.4%
車内	4	3	5	4	2	3	2	2	2	3	2.7%
死傷	29	23	26	30	24	25	15	12	8	18	19.0%
健康起因	5	1	3	4	6	2	1	5	5	1	3.0%
危険物等									1	1	0.2%
車両故障	29	30	17	27	25	25	20	17	24	36	22.6%
その他	2	4	5	11	5	9	4	12	5	6	5.7%
計	141	121	115	138	107	118	77	90	88	109	

【参考】

H25～R4

構成率

4.0%

3.8%

0.1%

5.6%

0.2%

34.5%

2.5%

19.6%

2.9%

0.1%

21.1%

5.6%

9. 原因別重大事故発生状況

重大事故発生状況を原因別にみると、全体の41.3%が車両に起因するものであり、次いで事業用自動車の運転者に起因するものが34.0%と比率が高く、歩行者及び他の車両等の相手方に起因するものが21.1%となっています。

運転者に起因する事故については、運転操作不良によるものが32件で全体の29.4%、運転者の状態によるものが4件で全体の3.7%、運転者の健康状態によるものが1件で全体の0.9%となっています。

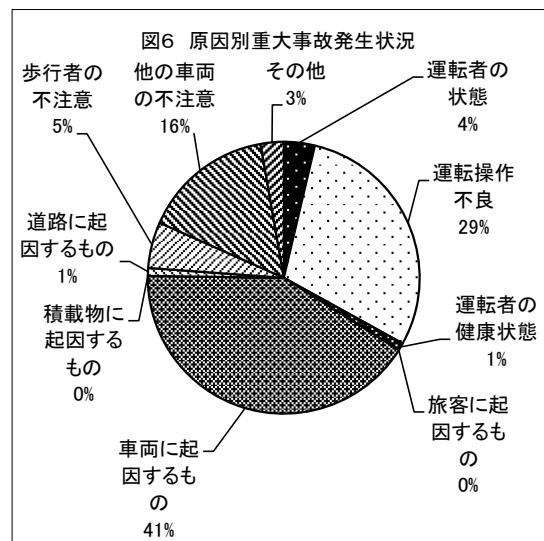
また、運転操作不良については、発車時の安全確認の不良又は不履行及び左折・右折不適切がそれぞれ4件と最も多くなっており、運転者の状態の内訳は居眠運転が2件、疲労時の乗務が1件、飲酒時の運転が1件となっています。

表11 原因別重大事故発生状況

原因	件数	構成率
運転者の状態	4	3.7%
運転操作不良	32	29.4%
運転者の健康状態	1	0.9%
旅客に起因するもの		0.0%
車両に起因するもの	45	41.3%
積載物に起因するもの		0.0%
道路に起因するもの	1	0.9%
歩行者の不注意	6	5.5%
他の車両の不注意	17	15.6%
その他	3	2.8%
計	109	

【参考】令和4年

件数	構成率
1	1.1%
29	33.0%
5	5.7%
	0.0%
31	35.2%
1	1.1%
1	1.1%
2	2.3%
16	18.2%
2	2.3%
88	



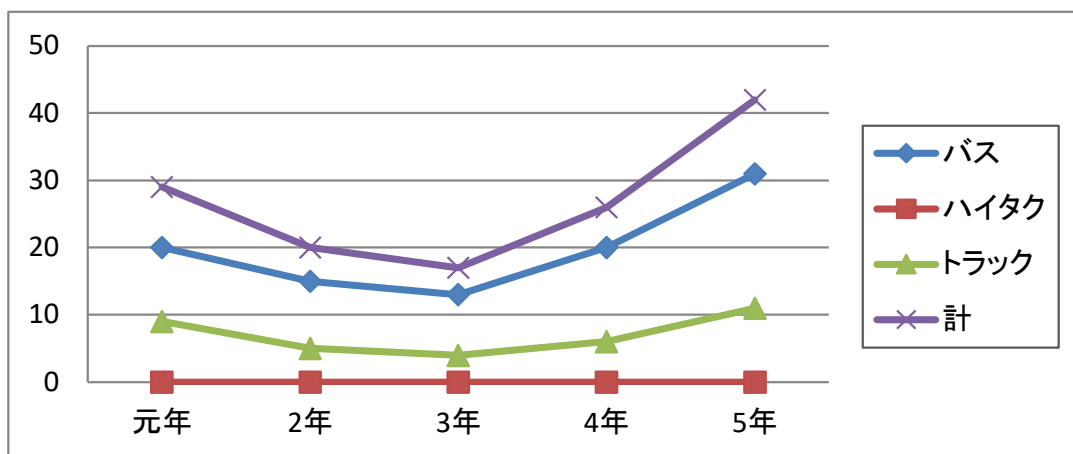
(参考)運転操作不良の分類

脇見運転	3 件
乗務時の通告不履行又は確認不良	1 件
発車時の安全確認の不良又は不履行	4 件
歩行者に対する不注意	3 件
最高速度制限の不履行	1 件
安全速度の不履行	1 件
車間距離不適切	1 件
信号無視	1 件
一時停止又は徐行不履行	1 件
停留所における停車方法の不適切	1 件
悪路における運転操作不適切	2 件
追越不適切	2 件
後退方法不適切	1 件
踏切通過時一旦停止、安全確認不良	1 件
運転操作粗暴	1 件
操縦未熟	1 件
左折、右折不適切	4 件
乗降口扉の開閉不適切(ワンマン)	1 件
漫然運転	3 件
その他	7 件
計	32 件

車両故障事故の発生状況(車両不具合に起因する火災事故含む)

1. 業態別車両故障事故件数の推移

	元年	2年	3年	4年	5年	合計
バス	20	15	13	20	31	99
ハイタク	0	0	0	0	0	0
トラック	9	5	4	6	11	35
計	29	20	17	26	42	134



2. 県別車両故障事故件数の推移

	元年	2年	3年	4年	5年	合計
徳島	7	6	2	4	12	31
香川	11	3	10	12	10	46
愛媛	5	7	4	8	9	33
高知	6	4	1	2	11	24
四国計	29	20	17	26	42	134

